

【事業者名称】高齢者グループホーム志賀の里(喜多)

平成20年 1月23日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I 理念に基づく運営</b>					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「明日はもっと自分らしく」と職員が話し合いで理念を作成した。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホールの全員が目につく場所に掲げている。		
3		<input checked="" type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には理解してもらっている。地域の人々にはできていないと思う。	○	地域の人にも理念が理解してもらえるように工夫する必要がある。
理念と共有 3項目中1項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	挨拶程度にはできている。自治会員なので、近隣には、事業所のことは認識されている。		
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事には地域の方が声をかけてくださるが、利用者の体調や、天候で参加できないこともある。		
6		<input checked="" type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	どうしても入居利用者のケアに重点がおかれ、地域の包括的な視点がないと思う。	○	地域を巻き込んだケアを試みる必要がある。
地域とのつきあい 3項目中1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価による気づきや、外部評価での評価事項については、重点的に意識して取り組む材料にしている。		
8	5	<input checked="" type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	職員が毎回、委員として入っているが、すべての情報は伝達できていない。	○	会議の内容を出席していない職員にもわかるように伝達方法を考える。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営や質の向上に向けてアドバイスももらっている。		
10		<input checked="" type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修として学ぶ機会が少ない。	○	職員間でも関心をもち研修に積極的に参加する。
11		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修として学ぶ機会が少ない。	○	職員間でも関心をもち研修に積極的に参加する。
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中3項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	管理者が窓口となり行っている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口を設け対応している。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会や、各イベントを利用し行っている。ケアプランのモニタリングの説明を行っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や家族の面会時のコミュニケーションの内容を適切に反映している。		
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者と職員は常に情報交換・意見交換を行っている。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事などの対応のための職員数の変更や、遅出・早出の調整は常に利用者中心に行っている。		
18	9	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は管理者の意見を聞いてくれるが、利用者のダメージに対する配慮は薄い。	○	運営者と管理者のタイムリーな情報交換と協同した取り組みが必要。
理念を実践するための体制 7項目中1項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	適切に研修に参加している。		もっと研修で学んだことを職場で生かしたい。
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	淡海グループホーム協議会や各研修で交流している。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	法人の福利厚生で、年間のイベントがある。		
22		<input checked="" type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	運営者は、包括的な介護事業所を運営しており、その一角のグループホームの勤務状況を把握していないと思う。	○	運営者と管理者のタイムリーな情報交換と協同した取り組みが必要。
人材の育成と支援 4項目中1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	職員は利用者の言葉を大切にし、言葉にできない方は、日々の生活を共にし、感じられることをアセスメントしている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	家族とのコミュニケーションを大切にしている。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者を中心に行っている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	短期入所の利用や、「お試し利用」を活用し、徐々に馴染んでいただけるように工夫している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中0項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	理念に準じて、日々かかわっている。利用者は日中、ホールで他の利用者や職員とかかわっていることが多い。		
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時は、利用者本人も含めて様子の報告を行っている。		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族が疎遠にならないように、事業所のイベントのお誘いを行っている。面会が困難な場合は定期的に連絡をとっている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れな いよう、支援に努めている	利用者の馴染みのものを知るように努 め、職員全員が適切な支援を行って いる。		馴染みの人、馴染みの場所にもっと もっと接していけるように支援したい。
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関 わり合い、支え合えるように努めている	身体的に解除なしでは移動できない利用 者がほとんどなので孤立されないよう に利用者同士が集まれるよう支援して いる。		本人の意思を見極め、単なる集団とな らないように支援していきたい。
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者 や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	サービス利用後も、運営推進会議の委員 などでかかわっていただいている。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中0項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>Ⅲ-1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の個々のケアプランに生活全体に関する課題をあげ、その人らしい暮らしに近づけるようアセスメントしている。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者のこれまでの生活習慣など家族の協力を得てできるだけ情報収集し、職員全員が把握できるよう努めている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の現状を各個人のケアプランに記載し1週間毎にアセスメント・モニタリングしている。		
一人ひとりの把握 3項目中0項目					
<b>Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	<input checked="" type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ユニット会議を設け、職員間で意見交換し、必要時、医療連携しながらケアプランに反映させている。	○	さらに家族の意見も今以上に反映させたい。
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	1週間毎に利用者担当の職員が見直し、ユニット会議で職員全員で見直し、医療関係者や管理者の意見も踏まえて計画策作成している。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者個別のケアプランを作成している。情報の共有はできている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中0項目					
<b>Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	必要な関係者と連携をとりながら、介護保険の制度の中で最大限できる支援を行っている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中0項目					

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	必要な社会資源、関係者と協力するようになっている。消防にアドバイスをもらっている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	常に本人中心にサービスの利用を考え、事業所に困り込むことはしていない。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	常に本人中心に必要な機関と協働している。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者は、居宅療養管理指導のサービスを利用しているため適切な医療を早期に受けられる。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	利用者の必要性に応じ、専門医の受診の支援を行っている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	管理者が、看護師であり、訪問看護ステーションと医療連携契約をしているため、相談し支援できている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	利用者の入院に際して必ず情報提供を行っている。入院先のMSWを中心に関係する医療従事者と連携をとっている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ささいな変化でも家族に早期に連絡し、必要時、関係する人々と話し合いの場をもっている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	終末期の契約者を利用し、「入院の場合」「グループホームの場合」「在宅の場合」と暮らしのメリット・デメリットを考慮しながら支援、検討している。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えの場合も、情報収集や情報提供は細かく行っている。		
地域資源との協働 10項目中0項目					



自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個人情報の適切な取り扱いは、契約時に説明し、個人にあった対応をケアプランを中心に心がけている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	常に利用者中心に、まず本人に話を聴きながらアセスメントしている。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の事情(急変や突発的なできごと)などできないこともあるが、できる限り本人のペースを大切にしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中0項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	利用者個人に合わせた身だしなみができるように支援している。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や、片づけができる利用者が現在おられない。食事は個人の食事の様子を観察し、ケアプランで検討している。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	利用者が直接希望を言われることは少ないが、選んでいただけるように数種類用意している。		


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56		<input type="checkbox"/> ④気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を利用し、排泄パターンをつかんで排泄誘導を行っている。		
57	23	<input checked="" type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員2人で介助を行う利用者もあり、職員の数で行っている場合もある。	○	具体的な方法がわからない。仕方ないと思う。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	利用者一人ひとりを観察し、職員が見極めながら就寝していただいている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中1項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	身体的にも認知面でも活動的な楽しみごとは発見できない。無理のない程度にイベントなどに参加していただいている。		
60		<input checked="" type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金の管理ができる認知レベルの方がおられないので、一括で管理している。	○	機会は少ないが、チャンスを潰さないように心がけたい。
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や、天候、気候を考慮しながら戸外に散歩などに出かけている。		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	利用者の体調や、天候、気候を考慮しながらドライブなど遠出している。(花見、食事会、紅葉狩りなど)		
63		<input checked="" type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	身体的、認知機能的に手紙を書く、電話を使用できる利用者がいない。	○	機会は少ないが、チャンスを潰さないように心がけたい。
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族の訪問は多い、居心地よくすごしていただけるように心がけている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中2項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関の鍵はかけていない。警察の指示で夜間は安全のため施錠している。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	事故報告書をアセスメントの材料にして、できるだけ見守りを怠らないように安全に配慮している。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	事故報告書をアセスメントの材料にして、物品の配置を考えながら危険回避している。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告書をアセスメントの材料にして、同様の事故を起こさないよう、必要時、個人のケアプランにあげ事故防止している。		
70		<input checked="" type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	消防署の講習は職員全員修了しているが、実際できるかどうか分からない。	○	1回の訓練でなく、定期的に行えるようにする。
71	27	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	自治会の担当の方が非難について話し合いに来られたが、事業所独自で実際の訓練を行い身につくところまでできていない。	○	職員が話し合っ、独自の訓練を行い、自治会に報告する。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	契約時に情報収集しできる限り説明している。サービス利用後も状態を説明している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中2項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタルサインの測定を行い、変化に早期に気づけるようにしている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬ミスのないよう、常によい方法を工夫している。内服の説明書をつづり、不明な点はどの職員も確認できるようにしている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	ヨーグルトを食べるなど工夫したり、医療連携をとっている。		
76		<input checked="" type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後はできていない。	○	必要時行えるようにしたい。
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個別的に観察し、利用者の食事・水分摂取の状態を把握し対応している。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルがある。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理員と協力し、調理員は食材を職員は利用者の手指消毒に努めている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中1項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関が奥まってわかりにくいいため、デイサービスの入り口に案内板を設置している。春になったら、玄関周囲に花を植える予定。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々のケアプランや、職員の感覚、利用者の表情など察知しながら心地よさを提供できるよう努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者の移動状態に合わせ、ソファを設置し心地よさを提供できるよう努めている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者に合わせた寝具を使用している。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中0項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ケアプランで個々に検討し工夫している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	ケアプランで個々に検討し工夫している。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	気候、天候に合わせてテラスや玄関で過ごすようにしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中0項目					

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
	項 目	取 り 組 み の 成 果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

援助記録とケアプランを連動させ、できるだけ「理にかなった」ケアができるように努力している。



# 評価結果整理表

## 個別表

□のチェック項目数

### I 理念に基づく運営

－1.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	1 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	3 項目/5項目
－4.	<input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	1 項目/7項目
－5.	<input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	1 項目/4項目

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

－1.	<input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2.	<input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

－1.	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2.	<input checked="" type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	1 項目/3項目
－3.	<input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4.	<input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### IV－1. その人らしい暮らしの支援

－1. (1)	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	1 項目/6項目
－1. (3)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	2 項目/6項目
－1. (4)	<input checked="" type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	2 項目/8項目
－1. (5)	<input checked="" type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	1 項目/7項目

#### IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

－2. (1)	<input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2)	<input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

## 総合評価

### I 理念に基づく運営 ( 項目/5項目)について

事業所の理念を含む、地域にも視点をおいた利用者・地域とのかかわりが課題である。運営推進会議の内容を職員全員が理解するためのシステム作りが必要である。事業所に虐待がないことが前提でケアに従事しているが、もっと虐待や権利擁護の法律にも興味を持ち研修にも参加していく必要がある。運営者と管理者の協力で理念をふまえたよりよいケアの取り組みを検討していくようにしたい。

### II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 ( 項目/2項目)について

### III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント ( 項目/4項目)について

ケアプランに今以上に家族の意見を反映させたい。

### IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 ( 項目/7項目)について

身体的に重度になっている利用者には、職員数の多い時間帯で2人以上の介助を要しながら入浴しているため、利用者本位の入浴はできていないのが現状である。同様に、金銭管理や電話が認識できない認知症的にも重症化してきた利用者が多い中、「できない」と思うのではなく、機会は少ないが「できる」機会を逃さないようにこころがけたい。急変に対する処置・処理や災害訓練も、講習会の参加だけでなく日ごろから自主的に具体的な訓練を行うことが課題である。毎食後に口腔内の清潔行為を行っていない。(確認はしている。)

### V サービスの成果に関する項目について

利用者の戸外の行きたいところは、身体的にほぼ全ての利用者は行くことができなくなっている。職員は家族とコミュニケーションを充分とっているつもりだが、家族はどうなのか確認できていない。事業所になじみの人や、地域の人が気軽に来てくださるような働きかけも必要だが、プライバシーにも慎重に配慮していかなければならない。事業所の職員の補充が遅く、職員は常に疲労しているのが現状である。

☆サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 高齢者グループホーム志賀の里(喜多)

評価年月日:平成20年 1月23日

前回評価年月日:平成19年 1月31日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
3.6.9.96. 97	2	地域とのかかわり	平成20年2月 ～21年3月	まずは、自然な形で 挨拶することから始 める		平成21 年1月
5	6	運営推進会議の職員全 員の内容の把握	平成20年2月 ～21年3月	会議内容を記載した ノートを作成する		平成21 年1月
11	7	虐待の研修の職員参加	平成20年2月 ～21年3月	積極的に参加		平成 21年 1月
10	7	権利擁護の研修の職員 参加	平成20年2月 ～21年3月	研修計画を立てる		
18.22	3	運営者と管理者のタイム リーな協同による事業所 運営	平成20年2月 ～21年3月	運営者へのタイム リーな状況報告		平成21 年1月
15.95. 100	4	ケアプランに今以上の家 族の意見の反映をさせる	平成20年2月 ～21年3月	ケアプラン開示時に 家族の意見を反映す る		平成21 年1月
57	4	利用者本位の入浴	平成20年2月 ～21年3月	利用者の気分をみて 試みる		平成21 年1月
60	4	金銭管理の機会を逃さない	平成20年2月 ～21年3月	日々の観察		平成 21年 1月
63	4	電話・手紙による連絡手 段がとれる機会を逃さない	平成20年2月 ～21年3月	日々の観察		
70	5	緊急対応の自主的訓練	平成20年2月 ～21年3月	委員を作り行う		平成21 年1月
71	5	災害非難の自主的訓練	平成20年2月 ～21年3月	防火管理者を中心に行 う		平成21 年1月
76	4	口腔内の毎食後の清潔	平成20年2月 ～21年3月	ケアプランを充実さ せ実行する		平成21 年1月
98	1	職員のタイムリーな補充	平成20年2月 ～21年3月	運営者へのタイム リーな状況報告		平成21 年1月
92	4	利用者の屋外の行きたい ところへのお出かけ	平成20年2月 ～21年3月	ケアプランを充実さ せ実行する		平成21 年1月